

調査事例紹介：その33

ステファニアってどんな植物？ と 神崎川の流れ編



豊中市立図書館には、毎日いろいろな調査の依頼が届きます。
そのうちの一部をご紹介します。

Q. ステファニアという植物の実がかわいいと聞いたので、写真かイラストを見てみたい。

A. 『原色牧野植物大図鑑 [正]』(北隆館)の学名索引に「Stephania japonica」という項目があり、和名が「ハスノハカズラ」であることがわかるほか、葉や花・実の様子がイラストで確認できます (p.132)。また、『日本の野生植物 2』(平凡社)に、「Stephania」(ハスノハカズラ属)の項目があり、全世界に約35種、日本には1種 (Stephania japonica) があると紹介されていて、この日本のハスノハカズラの実がなっている様子の写真を見ることができます (PL62)。

他に『そらみみ植物園』(東京書籍)では「Stephania erecta」の絵を確認することができます (p.97)。また、大阪市立長居植物園に問い合わせたところ、「ステファニアは塊根植物でイモの仲間であり、“ステファニア・ヴェノサ”という種が有名で、『園芸植物大事典 1』(小学館)に記載があるということがわかりました。

Q. 神崎川の流れは、あいがわ安威川やばんたすいろ番田水路とつながっているの？

A. 『安威川・神崎川 琵琶湖・淀川里の川をめぐる ちょっと大人の散策ブック 歴史とロマンの川編』(琵琶湖保全機構)という本があります。p.9に神崎川流域図があり、神崎川が安威川や番田水路とどこで繋がっているのかを確認することができます。

この2つの事例についてくわしく知りたい方は、豊中市立図書館のサイトの「レファレンス事例をさがす」のページから、フリーワード「ステファニア」または「神崎川の流れ」で検索してみてください。